

町会・自治会だより

しかはま

- オレクシーさんインタビュー……………1
- 連合運動会●新春の集い……………2
- 合同音楽会……………3
- 加賀中40周年記念式典……………4
- すこやかネットワーク……………4
- 宇煮・餅つき●ハロウィン・谷在家町会……………5
- 鹿浜獅子舞●鹿浜五丁目団地建て替え……………6
- 町会の輪に入りましょう……………7
- 鹿浜未来小植樹式……………7
- 千住宿場町散歩●編集後記……………8

主催・発行/足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会
 編集/編集委員会
 足立区鹿浜6-8-1 鹿浜区民事務所内
 TEL 03-3853-2301



多文化共生

鹿浜地区に避難されたウクライナ人 タナシエンコ・オレクシーさんへのインタビュー



タナシエンコ・オレクシーさん

ウクライナで夜間学校の日本語の先生を約30年間されていたタナシエンコ・オレクシーさんにインタビューをしてきました。

先生をさせていただきあって、日本語を話すのも上手でした。漢字を読むことも得意だそうです。人名漢字は難しいので散歩の際に表札トレ

ニングをしているそうです。

なお、オレクシーさんはウクライナから日本に来て約2年です。

2000年からウクライナ人のメンタルヘルス（心の悩みの問題解決など）のNPO会長をされており、近いうちに日本で活動を開始する予定だそうです。



▲タナシエンコ・オレクシーさんと豊岡さん

Q 日本とウクライナの文化について

日本とウクライナは共通点が多い。藁ぶき屋根は世界にウクライナと日本だけ。日本は稲、ウクライナは麦。ウクライナはコザック兵、日本はサムライ。楽器だとバンドゥーラ、びわ。

ウクライナには親日家がたくさんいます。私は他の人より早く、小学生の頃から日本に興味がありました。

生花・茶道・書道・柔道・空手など日本文化に興味を持つ人がたくさんいて、習っている人も多くいます。

Q ウクライナと日本の違い、不便に思っていること

（お答えを編集委員がまとめました）

ウクライナの首都キーウの冬はマイナス35度くらいになるため、ウクライナの洗濯機はお湯が出るようです。オレクシーさんは不便を感じていないようでしたが、他のウクライナの方はお湯の出ない日本の洗濯機にビックリするようです。各家庭の窓際には、お湯で部屋を温めるパネルヒーターがついているそうです。

Q 鹿浜地区に住んで感じること

都市農業公園が好き。よく散歩に行っています。

都市農業公園の広場で伝統的なドラゴンダンスをやりたいです。ウクライナ語で「ホロヴォード」といって、人々が輪の形になって嬉しい気持ちになるダンスです。



インタビューを終えて...

こちらの質問に快く、色々なことを答えてくださいました。オレクシーさんの日本への愛がとても感じられました。オレクシーさん、お忙しい中ありがとうございました！（編集委員 豊岡多恵子）

🍷 コロナ後、4年ぶりの運動会

第27回 鹿浜地区町会・自治会

連合運動会

開催

11月3日（金）は文化の日。この日例年実施されていた連合運動会が4年ぶりに開催されました。

会場の皿沼小学校では前日からテントを運んだり、靴のまま使用できるようにトイレにシートを引いたり準備に追われていました。当日も主催者、協力団体の皆様が準備をして秋空のもと午前9時に開場となり、予定通り9時半から開会式のあと競技がスタートしました。

午前の部では小学生の50メートル競走やパン食い競争、高齢者のゲートボールやスプーンレースなどが行われ、各町会・自治会の応援席から大きな声援がとびかいました。昼休みになると、小学生の太鼓に合わせて「東京音頭」や「炭坑節」などの輪踊りが披露されました。まぶしいくらいの日差しに各町会のはっぴの色が映えてとても綺麗でした。

午後の部では玉入れ、町会・自治会対抗の綱引きとどんどんボルテージが上がり、最後の団体リレーでは町会・自治会の皆さんの応援で大いに盛り上がりました。4年ぶりの開催でしたが、晴天に恵まれ、大きな混乱もなく無事に閉会となりました。（編集委員 新井一恵）



▲それ引け、ワッショイ！日頃の力を見せます……



▲会場の多くの参加者



▲役員の方々

🍷 令和6年 鹿浜地区町自連・地区対新春の集い



▲横田夏夫町自連会長のあいさつを聞く参加者

コロナ禍がとりあえず通り過ぎ、明るさを取り戻した令和6年を迎え、久々の宴「令和6年地区新春の集い」が鹿浜いきいき館において、賑々しく1月15日（月）の宵に催され、大勢のかたがたに集まっていただきました。

集いは区歌斉唱に始まり、会長・ご来賓の挨拶そして乾杯と続き、和気あいあいとは進み楽しいひとは「アッ」という間に終宴となりました。早々帰宅される人、もう一軒と足早に一直線の人、とても寒い夜でした。

（編集委員 柴田悦男）





▲あいさつする浅香孝子地区対会長

鹿浜地区の小・中学校の合同音楽会が令和元年以来4年ぶりの開催が出来たことは誠に嬉しい次第です。困難が伴いましたが多くの皆様のご協力のお陰と役員一同感謝申し上げます。

コロナ禍による感染拡大防止のため学校では楽器が使えない、声を出すことが出来ない等音楽活動が通常に戻っていないという現状の話でありましたので、各校にお願いし個人の出し物になりました。校長先生が率先して出場して下さったことは今までにない成果でありありがたく思いました。教職員と児童生徒と地域が一体となった合同音楽会でありました。

鹿浜地区小・中学校 合同音楽会

教職員・児童生徒が一体!



▲勇壮な太鼓の音にシビれた……（和太鼓ダチョウ）



▲ピアノの美しい響きに魅了された

音楽は私たちの生活に密着したものがあり、人生においても、辛い時、悲しい時、嬉しい時、心を慰め、励まし、癒してくれたり、勇気を与えてくれます。足立区を音楽の街にしたいと言った教育長さんがいましたが、合同音楽会は多くの地域の人々が楽しみにしている行事の一つであり閉じるわけにはいきません。来年、再来年へと更なる発展をしていきたいと思っていますので今後共ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

（足立区青少年対策鹿浜地区委員会会長 浅香孝子）



▲どこかで見た顔、あっ！校長先生だ……



▲加賀中創立40周年記念式典であいさつする近藤やよい区長



▲皿沼保存会によるお囃子



▲あべやの津軽三味線

加賀中40周年記念式典

令和5年に加賀中学校が創立40周年を迎え、11月18日(土)に記念事業(式典・祝賀会)を開催しました。松岡幹夫実行委員長のもと、新型コロナウイルス感染症が五類に移行した5月より急ピッチで準備に取り掛かり、様々な問題を乗り越え何とか無事に間に合うことができました。

記念式典では、近藤やよい区長をはじめ多数の来賓の方々にご臨席いただきました。また、前回の30周年時は台風の接近により中止となった記念祝賀会も20年ぶりの開催となりました。大勢の地域の皆様に参加していただき、あべやの津軽三味線、皿沼保存会のお囃子も大いに盛り上がり盛大に開催することができました。

(加賀中学校PTA会長 勝田直樹)

鹿浜 すこやか ネットワーク

聞いてみよう！
子どもたちのメッセージ

令和5年10月14日(土)足立区立鹿浜五色桜小学校において足立区青少年委員会第12ブロック主催によるすこやかネットワークが開催されました。今回のテーマは「今、夢中になっていること」で地域4校の小学6年生4名と2校の中学校から3年生4名が参加してくれました。

どの発表もそれぞれの夢や趣味、スポーツなど夢中になっている若くて熱いメッセージでした。発表



▲若くて熱いメッセージで盛り上がったすこやかネットワーク

者には割れんばかりの拍手が上がり、イベントはとても盛り上がりました。

親や来賓など多くの観客の前で発表して、すごい緊張をしたと思いますが、これも素晴らしい経験ではないでしょうか。

これからもこの熱い気持ちを忘れずに夢中になって頑張ってください。

(編集部)

🍷 こんなイベントがあったらご連絡ください

各地区 イベント

コロナ禍が明け、各地区で待ってましたとばかり、芋煮会や餅つきのイベントがありました。



▲皿沼町会の芋煮会



▲鹿浜五丁目団地北部自治会の芋煮会



▲江北六丁目団地自治会の餅つき大会

🍷 ハロウィン仮装パレード・谷在家町会



▲ハロウィンパレードに集まった多くの参加者

谷在家町会において平成28年の第1回ハロウィンパレードから、今回で第6回目の実施となりました。

前は120名、今回は100名の参加。1グループ約22名プラス警備5名で6グループ、総勢約160名で町内を歩き、パレード中に怪我をしないよう、また交差点や尾久橋通りの通過時には特に最善の注意を払いました。

仮装した子ども達は10か所の家を廻り、お菓子のプレゼントを受け取りました。パレードも無事終わり、お昼にはスタッフが用意をしたカレーライスと豚汁を食



▲神社の境内でプレゼント、カレーライス、豚汁と盛り上がった

べ、食後に抽選会を行い皆さんに楽しんでいただきました。

30年後、50年後、参加した子ども達が谷在家ハロウィンパレードを懐かしく思い出していただければ幸いです。

(谷在家町会会長 矢島兼孝)



足立区指定無形文化財 鹿浜獅子舞が4年ぶりの奉納



▲鹿浜東町会の社殿前で舞う獅子舞



▲4年ぶりの勇姿！獅子が入場

まずは鹿浜獅子舞の謂れから説明しましょう。そもそもこの獅子舞は300年程前に始まりました。200年程前に当地の代官田村権右衛門の進言により、上野寛永寺にて披露したことで有名になりました。そんな大昔より東の人々により貴重な獅子舞の伝統を守り続けて今に至るのです。獅子舞の発祥の地は、鹿浜4町会ですが、舞手は東町会が荷負ってきました。東町会の北野神社の建立は文禄年間（1600年頃）に創建されたといわれています。御祭神は菅原道真公です。社殿には稲荷神社も祀り、御祭神は宇迦之魂命うかのみたまのみことである二社を祭り、両社神社とも称されます。

秋祭は障りのない限り毎年鹿浜4町会（東・古内・島・糝屋）の持ち回りで2日間開催されます。獅子舞も同様であり初日は東町会にて総ざらえ（本番前日の通し練習）を披露し、2日目に本祭当番町会にて古式に倣い披露されます。舞の内容を若干説明すると獅子は大・中・女の三獅子が13曲の舞の内から5～6曲を舞います。伝統芸能を継承し伝承するのは現在の世代では大変なことです。さて、あなたも華麗に舞ってみませんか。

（編集委員 柴田悦男）

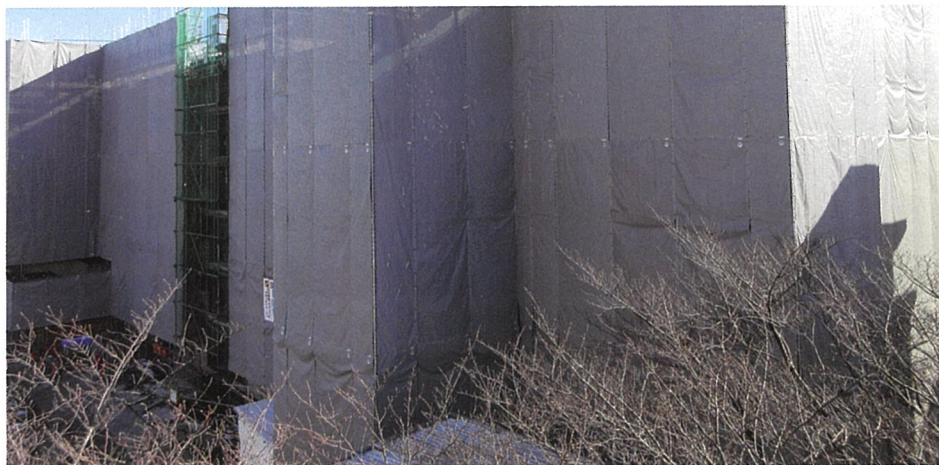
鹿浜五丁目団地建て替え工事中

鹿浜五丁目団地は建物や設備の老朽化が進行しているため、令和3年から建て替え工事中です。

敷地内にある14棟を順次取り壊し、鉄筋コンクリート造の都営住宅を建て直す予定です。現在2棟の建築工事が進んでいます。

全棟完成までまだまだ時間がかかりますが楽しみです。

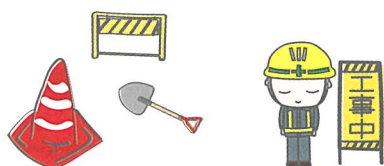
（編集部）



▲シートでおおわれている現場。
どんな新しい建物が顔を出すか楽しみ……



鹿浜五丁目団地、
建て替え工事中▶



町会の輪に 入りましょう!



ミニインタビュー 鹿浜押部町会 小宮 功 会長

▲インタビューを受ける小宮会長

○町会員の加入数と加入割合は？

域内約4,000世帯のうち加入は1,100世帯ですので、28%の加入率となります。年会費は3,000円です。

○加入数を増やすためにどのようなことをされていますか？

町会運営の無駄無理をなくすことは大切です。都・区と折衝しAED2台、防犯カメラ23台を設置するなど安全・防犯への地道な活動も知っていただくよう広報しています。隣近所知り合うのが安心安全の第一歩。加入して町会の輪に入ってほしいと思っています。

○能登の大震災。町会の責任者としてどのように感じましたか？

現地の町会長さん達の大変な苦勞に頭が下がります。いざという時は私も先頭に立って頑張る覚悟です。町会として復興に向け出来る限りの応援をするつもりです。

(副編集長 矢萩敏隆)



令和6年1月20日に鹿浜未来小学校の開校を記念して、「しだれ梅」が植樹されました。東京足立ロータリークラブ（石渡嘉郎会長）から寄贈されたものです。

しだれ梅の花言葉は「高潔・忠実・忍耐」。

これから長きに渡って、児童や先生、地域の方の目を楽しませ、鹿浜未来小学校の児童と一緒に、「高潔に忠実に忍耐強く」成長してくれることでしょう。



▲クワ入れをした関係者。
左から、たがた区議会議員、鹿浜区議会議員、横田鹿浜町自連会長、大山教育長、山下校長



▲この「しだれ梅」を守り、育てていきますと児童代表のお礼のごあいさつ

千住 宿場町散歩

千住宿場町・学園の町・若者の町



▲勝専寺の赤門

行き交う人でにぎわい活気づいていました。町の一角に昔から勝専寺がありました。江戸時代に徳川将軍が鷹狩りの際の休憩所として当寺が使われていたそうです。寺の境内には鐘楼堂があり、堂の横に小さな二宮金次郎の像がひっそりと立っていました。懐かしい思いが甦ってきて感慨深いものでした。

やわらかな日差しの中、紅梅も咲き始めていました。

新旧入り混じった町並み。歴史を感じながらの楽しい散歩でした。
(編集委員 江川せつ子)

千住の名の由来

千住の名前の由来は「千手観音」からきているといわれる説があります。この千手観音は勝専寺（通称 赤門寺）に寺宝として安置されています。千手観音は大川（現 隅田川）から引き上げられそれをまつた土地ということで、「せんじゅ」と呼ぶようになったといわれています。

(編集長 野辺慎一)



▲千手観音（勝専寺より写真拝借しました）

編集後記

普段家飲みはしていませんが今年の正月（令和6年）元日の夕方、缶ビールを片手にテレビを見ていました。画面に石川県で震度7の地震発生ニュースが流れ、卓上のスマホに「地震です、地震です」と緊急音が鳴り、当地鹿浜の我家は10秒も過ぎないうちにグラグラ揺れました。震度は3くらいだろう。約10秒で収まりました。テレビ局のアナウンサーが「津波が来ます。今すぐ逃げてください！」と強い口調で何度も繰り返し叫びながら呼びかけています。夕刻の4時すぎです。日没が早く、この時間帯は帰省して家族団らん、友達同士各々楽しんでた人にとって一瞬にして恐怖に変わったことでしょうか。12年前の東日本大震災のことを思い出し早く逃げて無事に避難して欲しいと祈るだけでした。夜が明けた2日、時間が経つにつれ被害の大きさに胸を痛めました。

また、この2日の夕方には日航機と海保機の衝突事故が起きました。炎上した日航機の乗客乗員379名は客室乗務員の冷静な対応で全員無事に脱出できた報道に拍手を送りました。

災害は人間の力では防げないが事故は一人一人が基本ルールをしっかりと守り続けていれば防げると思います。今年のスタートは悲しい出来事が起きました。これから平穏な日々が続くのでしょうか、良くなることを切に願っています。

(編集委員 坂井孝夫)

編集長 野辺慎一
副編集長 矢萩敏隆
委員 江川せつ子、坂井孝夫、豊岡多恵子、大滝圭三、新井一恵、柴田悦男
事務局 鹿浜区民事務所地域担当係長 成島哲雄

▼外国人の方が分からないことがあって困っている時に参考にしてください。



東京都多文化共生ポータルサイト「TIPS for Tokyo Life」

<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp>

東京都の暮らしに関する情報を提供するホームページです。